



QOL健診で握力を測定する参加者

## 全国に先駆け弘大「QOL健診」 健康増進をサポート

明治安田生命 青森・倉橋建設で

弘前大学開発の啓発型健康診断「QOL健診」を今年度から全国で実施すると発表した明治安田生命保険相互（永島英昭社長）は14日、全国に先駆け青森市の倉橋建設で「QOL健診」明治安田×弘前大学として健診を行い、参加者の健康増進をサポートした。

同社と弘前大学は共同研究講座を設置し、健康寿命延伸に関する取り組みを進めており、QOL健診の実施もこの一つ。大学の監修の下、ノウハウを蓄積し、4月から全国で受診希望を募って展開していく考え。

QOL健診は同社支社など会場に受診者を集めて行うほか、希望する企業を訪ねて行うことも想定している。この日は訪問型の健診として初めて実施。倉橋建設では倉橋純造会長ら約30人が参加し、体組成や骨密度、内臓脂肪のほか、立ち上がる力を測定して自分の健康状態を確認した。

「QOL健診 明治安田×弘前大学」は4月から募集し、6月ごろから実施する。同社の担当者は「明治安田の商品やサービスで皆さまに楽しんでいただき、健康になってもえたら」と話した。

5月には明治安田の全国支社で、自社の営業職員対象の健診も行う予定（今井英世）